

作者の野口徳次（1908-1999）は高城町出身の画家で、1936年に東京美術学校油画科を卒業後、一度は絵画制作から離れて新聞社に入社。終戦後に退職して帰郷した野口は再び絵筆を執り、都城泉ヶ丘高校などで美術教諭を務め、教え子として多くの芸術家を世に送り出しました。また、市立美術館の開館準備にも携わり、初代館長を務めるなど、本市の文化芸術発展の礎を築きました。

本作は、戦後比較的早い時期の作品とされるもので、野口の持ち味である透き通るような明るい色彩で描かれています。輪郭を力強い線で捉え、地形を多面体のように表した描写は、野口が心酔していたピカソの表現にも通じるようです。

※本作は、8月17日(日)まで開催の収蔵作品展夏休み企画〈入門〉アートの疑問「くらべる美術」に展示中

◎問い合わせ 市立美術館 ☎25-1447

かれくさのおか
「枯草丘」

野口 徳次 作 （制作年不詳）



（一番右）福島宏代表取締役、（一番左）福島光代専務取締役とスタッフの皆さん

明治40年から地域の食卓を支え続ける福島精肉店。「肉のふくしま」として長年市民に親しまれてきた同店は、精肉店の枠を超え「口福」を届ける食の専門店として欠かせない存在となっています。

「地元の人と共に歩む店」と語るのは、4代目の福島宏代表取締役。13人のスタッフを擁し、精肉・惣菜・スパイスの3本柱で事業を展開しています。精肉部門では学校給食センターなどへ安全安心な肉を提供。平成7年に開始した惣菜部門では、当初のハンバーグとコロッケか

ら現在は25種類以上にメニューを拡大し、国産食材にこだわった手作りの味わいが評判を呼んでいます。スパイス部門も同店の強みで、お客様の「店と同じ味が出せない」という声をきっかけにコロッケ用の調味料を商品化した喜スパイスは、全国にそのファンを持つ同店の看板商品です。

女性が働きやすい職場づくりにも重きを置く同社。「第一に子ども、仕事はその次でいい」と語る妻の福島光代専務の思いで、祝日と日曜日を休みにするなどの改革を実施。スタッフが笑顔で働ける環境づくりに注力した結果、勤続年数10年以上のベテランスタッフが揃う環境を実現しています。お菓子屋さんを参考にした制服など、従来の精肉店イメージを払拭するブランディングも積極的に推進する同店。これからも夫婦で笑顔の連鎖を大切に、地域の食卓に「口福」を届け続けます。

Corporate Power

都城をけん引する企業を紹介

企業の力

Vol.59

株式会社福島精肉店

☎25-1129



総菜は揚げたてを提供

History exploration | 歴史探訪！

標札

戦時中、家族が出征することになった家の玄関には、標札が掲げられていました。標札は、その家に御国のために戦う家族がいることを示すもので、名誉の象徴でもありました。本資料の表面には、日の丸の旗のような絵と「出征軍人の家 都城市」という文字が記されていて、裏面には出征者の兄弟が記したとされる出征者本人の入営日の日付などが確認できます。地域によって表現はさまざまで、「出征」や「現役軍人」、「出勤軍人」などと記された標札もあります。さらに、本資料には「都城市」と記されていることから、出征は郷土にとっても名誉あることだという強い意味が込められていることがうかがえます。また、戦死した家族がいる家には、そのことを知らせる標札も掲げられていました。

標札を掲げる家は家人の出征などで労力が不足していたことから、青年団や婦人会が勤労奉仕として農作業の手助けなどを行っていた記録が全国各地に残っていて、本市でも同様の状況だったことが推察できます。

※本資料は、11月9日(日)まで開催中の都城歴史資料館特別展で展示中



標札表（左）、裏（右）

◎問い合わせ 文化財課 ☎23-9547

都城島津伝承館

島原出軍につき北郷忠直定書

ただなお

島原出軍につき北郷忠直定書

寛永14（1637）年から翌年にかけて、島原半島南部で起きた島原の乱（島原・天草一揆）。島原藩によるキリシタン弾圧や厳しい年貢の取り立てに飢饉が重なり、耐えかねた3万7千人の人々が、天草四郎時貞を首領として原城跡（長崎県南島原市）に立てこもり、起こした反乱です。幕府は12万もの大軍を送り、半年後ようやく鎮圧しました。

本史料は、島原出陣に際し、都城領主・北郷忠直（久直）の家老衆から、戦を指揮していた津曲兼業と古垣忠興に対して送付した軍令3カ条の定書です。定書には、①津曲・古垣からの指示の厳守と忠勤を尽くした者への褒賞、②戦場および道中における任務遂行の厳守、③合戦時における津曲・古垣からの命令の順守などについて記されています。

この時、北郷軍からは300人の兵が出軍。鉄砲衆も組織しましたが、出水米之津（鹿児島県出水市）で戦闘の終結を聞き、寛永15（1638）年2月2日に軍を引き返すことになりました。

◎問い合わせ 都城島津邸 ☎23-2116

今月の読者プレゼント



いちご丸ごとかき氷 10人

プレゼント提供事業者

ラ フレーズ La fraise都城店（北原町15-9） ☎66-8996

6月にオープンした同店から、1kgものイチゴを贅沢に使ったかき氷をプレゼント。自社農園で極力農業を使わず栽培したイチゴの風味を堪能できるメニューが魅力の同店。クレープなど持ち帰り商品も取り揃えています。

プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名、電話番号と、8月号を読んだ感想などを書いて〒885-8555まで。
応募者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。

- ◎応募締め切り 8月31日（日） 当日消印有効
- ◎当選者発表 本紙10月号
- ◎6月号当選者 マツケンさん ほか9人
- ◎6月号応募総数 110通

※市公式LINEとお友だちの人は、プレゼントボタンから応募できます

お待ちしております／読者の便利

郵便はがきにこの面を貼り付けて、宛名面に次のとおり記載の上、郵送ください。

宛先

郵便番号 885-8555
都城市役所秘書広報課 行
※住所の記載は不要

送付者情報

氏 名
フリガナ
ペンネームまたはイニシャル
郵便番号
住 所
電話番号

▶点線に沿ってお切りください

私の夢

堂領 倅之介さん 石山小6年

みんなを楽しませる
動画クリエイターになりたい



都 城 市 現 住 人 口			
	令和7年7月1日現在	前 月 比	前 年 比
世 帯 数	74,044 世帯	97	426
人口総数	159,068 人	55	-511
男 性	74,913 人	8	-203
女 性	84,155 人	47	-308

※令和2年国勢調査に基づく推計人口



スマートフォンからも統計情報を確認できます。



「南部ふれあい広場」（大岩田町）

編集後記

広報担当になって初めて知った6月の牛乳月間。牛乳の消費量は減少傾向ですが、我が家の子ども2人は大好きで毎日1パックが空に。子ども時代はよく飲んでいて私も大人になると遠のいています。改めて「白い恵み」と向き合う機会となりました。(紘)

本号で取り組んだ戦後80年の特集企画。戦争体験者の濱田さんと永崎さんは驚くほどにエネルギーで、心から尊敬の念を抱きました。激しく移り変わる時代を生きてこられたお二人の生き方に、自然と自身の日々の過ごし方を省みました。(つ)

都城フィロソフィ¹⁰

◎問い合わせ フィロソフィ推進課 ☎23-7163

第2部 素晴らしい都城市とするために

第1章 一人ひとりが都城市役所

一人ひとりが都城市役所

都城市役所の職員は、さまざまな場で市民と接しています。

仮に100人中99人が市民のことを考えて仕事をしていても、1人の職員が市民の信頼を裏切るようなことをしてしまうと、残りの99人の職員への信頼も傷つけてしまいます。たった1人の間違った行動が、99人がこれまで築いてきたものを壊してしまうのです。

職員一人ひとりが都城市役所の主役であり、都城市役所の看板を背負っていることをしっかりと肝に銘じ、当事者意識を持ち、一期一会の精神で市民サービスに努めることで、市民に信頼される都城市役所となります。

届けたい都城の風景

夏の花と言えば、真っ先に思い付くひまわり。本号の表紙では山田町のひまわりを紹介しましたが、本コーナーでは南部ふれあい広場の風景をお届けします。管理事務所の皆さんが汗をかきながら土づくりや除草作業に励んだ努力の結晶とも言える黄色いひまわり畑。本市の夏の定番となりつつあるこの景色をシャッターに収め、気持ちは早くも秋のコスモス畑にはやるのでした。

【撮影データ】
デジタルカメラ レンズ28～200mm・F2.8-5.6、1/160秒 F14 焦点距離138mm ISO1000



地元の味「メンチカツ」を全国へ！
都城メンチプロジェクト
日本一の肉のまち都城で長年愛されてきたメンチカツ。令和4年に始動した「都城メンチプロジェクト」は、メンチカツの魅力を余すところなく全国に発信するために、地元の精肉店や飲食店、道の駅などが一つになり立ち上げた、まちぐるみのプロジェクトです。



観光地や遊び場、イベント、グルメスポットなど、市内で楽しめる場所・モノ・コトを紹介！

都城メンチで幸せ上々

◎問い合わせ
みやこんじょ PR課 ☎23-2615

毎月14日は「都城メンチの日」
都城の「うまい」がぎゅっと詰まった「都城メンチ」。もっと多くの市民の皆さんにメンチカツを味わってほしいという思いから、本プロジェクトを立ち上げた12月14日にちなみ、毎月14日を「都城メンチの日」としました。

みんなで都城メンチを味わおう！
プロジェクト参加店舗では、「都城メンチの日」に合わせた限定商品や特典サービスなど、都城メンチをより楽しめる企画を用意しています。また、公式Instagramでは、企画の内容や都城メンチを使った簡単アレンジレシピなどを発信しています。ぜひフォローください。

毎月14日は、アツアツのメンチカツを食べて、みんなで都城メンチを熱く盛り上げましょう！



MIYAKONOJO_MENTHI



新刊紹介
おすすめ図書

◎問い合わせ
市立図書館 ☎22-0239
高城図書館 ☎58-4224



みっちりつぶつぶとうもろこし
いわさゆうこ (作)、童心社 (出版)
夏のごちそう、トウモロコシ。みっちりつまったつぶつぶは、どうやってできていくのかな？ 実るまでの様子や育て方、世界のトウモロコシなどについて楽しく伝えます。



プラネタリアム解説員が本気で伝えたい
星座と星めぐり
コスモプラネタリアム渋谷 (著)、中央公論新社 (出版)
星空の生解説が人気のプラネタリアム。名物解説員8人のユーモア溢れる解説で星空が魅力的に見える1冊です。

【市立図書館】 ●休館日／9月2日
●開館時間／9:00～21:00

【高城図書館】 ●休館日／8月5日・11日・12日・17日・19日・26日、9月2日・9日・15日・16日
●開館時間／9:30～18:00

今月のみやこんじょ弁



仲間に入れる

背景
「加える・まぜる」を意味する「^か糅つ」が語源。「かたすい」や「かつい」と言うこともある。
※方言は市内でも地域や年齢によって異なります
参考文献 瀬戸山計佐儀著「都城^{ひきのり}さつま方言辞典」

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174